

# 氏名 飛田滋

- 職名：教授
- 取得学位：博士（歯学）
- 専攻：有床義歯技工学、歯冠修復技工学

情報公開用研究業績書(2025年4月1日更新)

研究分野	研究内容のキーワード
有床義歯技工学、歯冠修復技工学	鉤腕形態、維持力、鋳型内温度、変色歯、調節弯曲

## 研究業績に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌又は発表学会等の名称
(著書)			
歯科衛生士講座 歯冠修復と欠損補綴の治療と診療補助	共著	2020	永末書店
(原著)			
歯科技工士教育大綱化の現状と今後の展開・専門分野「実習と演習」	単著	2020	日歯技工誌 41,40-43
ノンメタルクラスプ義歯の短期的評価	共著	2013	明倫紀要
装着方向を規制することが義歯の維持力を發揮させる	単著	2010	明倫紀要へ投稿中
コ・デンタルスタッフの卒後教育におけるワークシップ方式の有効性 - 歯科技工士を対象としたワークショップのアンケート調査による検討 -	共著	2010	日本歯科技工学会雑誌へ投稿

コンプリートデンチャーにおける両側性咬合平衡を高めるための必要条件と技工の実際	共著	2006	日本歯科技工学会雑誌 27(2),28-33
金銀パラジウム合金を用いたれ レスト付 2 腕鉤における鉤腕形 態と維持力の検討	共著	2003	新潟歯学会雑誌 33(2), 45-51
重度変色歯に対するポーセレン ラミネートベニアの色調遮蔽性 に関する研究	共著	2003	新潟歯学会雑誌 33(2),53-59
全部床義歯における臼歯部排列 時に付与する調節彎曲の改良	共著	2003	新潟歯学会雑誌 33(2),69-76
歯学部と附属歯科技工士学校に おける共同教育モデルの導入と その教育効果-歯学部学生への アンケート調査から評価する-	共著	1999	日本歯科医学教育学会誌 15(1),120-128
(総説)			
なし			
(症例)			
なし			
(学会発表)			
下顎大臼歯におけるボーンレベ ルインプラント体の埋入位置が 歯肉に対し著しく深い場合のス クリュー固定式上部構造の一製 作方法	共著	2021.11.27	明倫短期大学学会
シンポジウムⅡ歯科技工士教育 大綱の現状と今後の展開	単著	2020.11.2-3	日歯技工
ARを利用した空間は握力育成教材 の開発とMCTによる有効性評価	共著	2019.11.2-3	日歯技工
Effectiveness of AR-based Practical Training Support Approach using smartphone	共著	2019.11.28-30	4th IADR APR
「歯科口腔リハビリテーション技	共著	2018.9.22-23	日本歯科技工学会第 40 回学術

「工論」における臨床実習前後の学生の意識調査			大会
訪問歯科診療業務に関する歯科技工士教育について	共著	2018.7.27-28	日本歯科医学教育学会
インプラントを用いたオーバーデンチャーの新システムについて	単著	2014.5.22	明倫学会月例研究会
歯冠修復技工学実習における評価基準策定の試み	共著	2012.12	明倫学会
ヒューリスティック評価項目を用いた実習成果物自動評価システムの開発について	共著	2012.12	明倫学会
顎口腔機能学実習における本学歯学部6年生とのスプリント共同実習の実施について	演者	1998. 7	日本歯科医学教育学会（新潟）
歯学部および歯科技工学校における共同教育モデルの導入－スプリント製作実習に関して	共同演者	1998. 7	日本歯科医学教育学会（新潟）
本校における顎口腔機能学実習の現況	演者	1998. 11	日本歯科技工学会（横浜）
電気炉の昇温スケジュールが鋳造体に与える影響	共同演者	1998. 11	日本歯科技工学会（横浜）
片側遊離端義歯の動揺と下顎運動の同時測定	共同演者	1998. 11	日本補綴歯科学会（東京）
LSCによるチェレンコフ計測の精度（V）－Dry Counting 法による義歯の劣化の測定－	共同演者	1999. 7	日本アイソトープ協会・第36回理工学会（東京）
LSCによるチェレンコフ計測の精度（VI）－Dry Counting 法による義歯の劣化の測定－	共同演者	1999. 7	日本アイソトープ協会・第36回理工学会（東京）
レスト付2腕鉤の生理的かつ機能的な維持力と形態について	演者	1999. 8	第21回日本歯科技工学会学術大会（大阪）
鋳造時の鋳型内温度の低下と鋳	共同演者	1999. 8	第21回日本歯科技工学会学術

造体の適合度			大会（大阪）
LSCによるチェレンコフ計測の精度(VII) – Dry Counting 法による義歯の劣化の測定 –	共同演者	2000.7	日本アイソトープ協会・第 37 回理工学会（東京）
レスト付 2 腕鉤の生理的かつ機能的な維持力の形態について – 2 報 –	演者	2000.8	第 22 回日本歯科技工学会学術大会（静岡）
鋳造時の鋳型内温度の低下と鋳造体の適合度《3 歯ブリッジの場合》 – 4 報 –	共同演者	2000.8	第 22 回日本歯科技工学会学術大会（静岡）
下顎片側遊離端義歯の浮き上がり回転軸と鉤間線の関係	共同演者	2000.10	第 104 回日本補綴歯科学会学術大会（大阪）
レスト付 2 腕鉤の生理的かつ機能的な維持力と形態について – 3 報 –	演者	2000.8	第 23 回日本歯科技工学会学術大会（福岡）
3-ユニット・ブリッジの適合について	共同演者	2000.8	第 23 回日本歯科技工学会学術大会（福岡）
鋳造鉤の生理的かつ機能的な維持力と形態について – 3 報（双子鉤） –	演者	2000.11	第 14 回東海北信越ブロック歯科技工学術大会（長野）
3-ユニット・ブリッジの適合について」(3 報)	共同演者	2000.11	第 14 回東海北信越ブロック歯科技工学術大会（長野）
アクリルレジンの適合について – 1 報 –	共同演者	2000.11	第 14 回東海北信越ブロック歯科技工学術大会（長野）
鋳造鉤の生理的かつ機能的な維持力と形態について – 第 4 報 –	単著	2002	日本歯科技工学会誌, 23(2), 284
コンプリートデンチャーにおける人工歯排列の基本原則を再考する	共著	2002	日本歯科技工学会誌, 23(2), 284
アクリルレジンの適合について – 第 2 報 –	共著	2002	日本歯科技工学会誌, 23(2), 307
金銀パラジウム合金を用いたレスト付 2 腕鉤における鉤腕形態	演者	2002.7	日本歯科技工学会誌, 23(2), 307

と維持力の検討			
全部床義歯の臼歯部人工歯排列時の調節彎曲の改良	共同演者	2002.7	新潟歯学会
重度変色歯に対するポーセレンラミネートベニアの色調遮蔽性に関する研究	共同演者	2002.7	新潟歯学会
鋳造鉤の生理的かつ機能的な維持力と形態について（双子鉤） －第4報－	演者	2002.8	第24回日本歯科技工学会学術大会（埼玉）
コンプリートデンチャーにおける人工歯排列の基本原則を再考する」—特に臼歯部排列について—	共同演者	2002.8	第24回日本歯科技工学会学術大会（埼玉）
アクリルレジンの適合について —第2報—	共同演者	2002.8	第24回日本歯科技工学会学術大会（埼玉）
鋳造鉤の生理的かつ機能的な維持力と形態について－第5報－	演者	2003.8	第25回日本歯科技工学会学術大会（札幌）
重度変色歯に対するポーセレンラミネートベニアの色調遮蔽性に関する研究（第1報）	共同演者	2003.8	第25回日本歯科技工学会学術大会（札幌）
フルバランスドオクルージョンにおける臼歯部排列時の調節彎曲に関する研究（Part2）	共同演者	2003.8	第25回日本歯科技工学会学術大会（札幌）
鋳造鉤の生理的かつ機能的な維持力と形態について－第5報－	共著	2003	日本歯科技工学会誌, 24(2), 316
重度変色歯に対するポーセレンラミネートベニアの色調遮蔽性に関する研究（第1報）	共著	2003	日本歯科技工学会誌, 24(2), 313
フルバランスドオクルージョンにおける臼歯部排列時の調節彎曲に関する研究（Part2）	共著	2003	日本歯科技工学会誌, 24(2), 295
鋳造鉤の生理的かつ機能的な維持力と形態について－第6報－	共同演者	2004.8.	第26回日本歯科技工学会学術大会（新潟）

重度変色歯に対するポーセレンラミネートベニアの色調遮蔽性に関する研究（第2報）	共同演者	2004.8	第26回日本歯科技工学会学術大会（新潟）
フルバランスドオクルージョンにおける臼歯部排列時の調節彎曲に関する研究（Part3）	共同演者	2004.8	第26回日本歯科技工学会学術大会（新潟）
鋳造鉤の生理的かつ機能的な維持力と形態について－第6報－	単著	2004	日本歯科技工学会誌, 25(2), 261
重度変色歯に対するポーセレンラミネートベニアの色調遮蔽性に関する研究（第2報）	共著	2004	日本歯科技工学会誌, 25(2), 293
フルバランスドオクルージョンにおける臼歯部排列時の調節彎曲に関する研究（Part3）	共著	2004	日本歯科技工学会誌, 25(2), 270
入れ歯が出来るまで、新潟市立松浜中学校第1回ゲストティーチャーデイ	単著	2005.7	松浜地区コミュニティー協議会
コンプリートデンチャーにおける両側性咬合平衡を高めるための必要条件と技工の実際	共同演者	2005.9.	第27回日本歯科技工学会学術大会（東京）
コンプリートデンチャーにおける両側性咬合平衡を高めるための必要条件と技工の実際	共著	2005	日本歯科技工学会雑誌, 26(2), 290
臼歯部咬合崩壊および前歯部フレアーアウトを伴った重度慢性歯周炎患者の一症例	共同演者	2006.3	第49回春季日本歯周病学会学術大会（千葉）
入れ歯が出来るまで、新潟市立松浜中学校第2回ゲストティーチャーデイ	演者	2006.7	松浜地区コミュニティー協議会
歯科技工士卒後研修としてのワークショップの進め方とその工夫	共同演者	2006.9.	第28回日本歯科技工学会学術大会（広島）
Complete Dentureにおける咬合理論と技工術式	共同演者	2006.9	第28回日本歯科技工学会学術大会（広島）

臼歯部咬合崩壊および前歯部フレーアーアウトを伴った重度慢性歯周炎患者の一症例	共著	2007.3	第49回春季日本歯周病学会学術大会プログラムおよび講演抄録集,16
歯科技工士卒後研修としてのワークショップの進め方とその工夫	共著	2006	日本歯科技工学会雑誌, 27(2),151
Complete Dentureにおける咬合理論と技工術式	共著	2006	日本歯科技工学会雑誌, 27(2),235
コンプリートデンチャーにおける両側性咬合平衡を高めるための必要条件と技工の実際	共著	2006	日本歯科技工学会雑誌, 27(2)28-33
新潟大学における総合模型実習 3年間の経験	共同演者	2007.7	日本歯科医学教育学会（岐阜）
解体入れ歯ショー新潟市立松浜中学校第3回ゲストティーチャーデイ	演者	2007.7	松浜地区コミュニティー協議会
重度慢性歯周炎に対して Cross-Arch Splintで歯周補綴を行った1例	共同演者	2007.9	第50回秋季日本歯周病学会学術大会（東京）
要介護高齢者の義歯着脱補助具の試作	共同演者	2007.10	平成18年度日本補綴歯科学会関越支部総会ならびに学術大会（新潟）
新潟大学における総合模型実習 3年間の経験	共同演者		第26回日本歯科医学教育学会学術大会プログラム抄録集,65,2007
重度慢性歯周炎に対して Cross-Arch Splintで歯周補綴を行った1例	共同演者	2007	日本歯周病学会50周年記念大会プログラムおよび講演抄録集,17
要介護高齢者の義歯着脱補助具の試作	共著	2007	平成18年度日本補綴歯科学会関越支部総会ならびに学術大会プログラム・抄録集,9
クラスプデンチャーの可能性と限界	演者	2007.12	平成19年度新潟県歯科技工士会学術講演会基本研修課程

重度広汎型慢性歯周炎患者に培養滑膜シートを用いた再生療法を行った一症例	共同演者	2008.10	第 51 回秋季日本歯周病学会学術大会 (四日市)
明倫紀要	共著者	2010 年 3 月発行	即時義歯を兼ねた複製義歯の一制作法
	演者	2009 年 7 月 23 日	明倫月例会クラスデンチャーの可能性と限界について講演
	演者	2009 年 12 月 6 日	山形県歯科技工士会置賜支部学術講演会（えくぼプラザ）クラスデンチャーの可能性と限界について講演
	演者	2010 年 3 月 24 日	新潟市歯科医師会西 2 班学術研究会（新潟市秋山郷）クラスデンチャーの可能性と限界について講演
	共同演者	2009 年 12 月 19 日	「明倫学会」（即時義歯を兼ねた複製義歯の一制作法について）
		2009 年 12 月 19 日	「明倫学会」一般講演セッションⅡの座長
		2010 年 12 月 18 日	「明倫学会」一般講演セッションⅢの座長
(商業誌)			
印象用ワックスの下顎全部床義歯の印象への応用	共著	1991	医歯薬出版, DE,96 : 1-7,1991
昇温スケジュールの管理で適合精度が変わる	共著	1998.11	歯科技工, 医歯薬出版, 26(9) : 1086~1105
(知財)			
なし			